

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_1

事業名	72100 道路橋りよう管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	2	道路橋りよう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	1	道路橋りよう総務費			施策分野	(4)	道路・河川		
担当課	建設部 維持課		内線	2322										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・道路、トンネル等を良好な状態で利用できるよう維持する。	概要	・道路照明の保守点検及び修繕 ・道路防災設備や融雪設備の保守点検及び修繕
----	------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		92,768	75,042	97,298	97,285	95,956
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(道路占用料 等)	77,663	75,042	76,771	76,771	84,698
一般財源		15,105	0	20,527	20,514	11,258
新規・拡充	主な事業内容					
	道路関連施設の維持管理	92,768	75,042	97,298	97,285	95,956
	市道路線の調査					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・道路照明、融雪設備等の管理に係る電気使用料等の負担 ・融雪設備等の保守点検及び修繕 ・トンネル等の防災設備保守点検及び修繕
評価等	・適切な道路の維持管理を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・引き続き市民が安全に道路を利用できるよう、適切な維持管理を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・道路照明、融雪設備等の管理に係る電気使用料等の負担 ・融雪設備等の保守点検及び修繕 ・トンネル等の防災設備保守点検及び修繕
評価等	・適切な道路の維持管理を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・引き続き市民が安全に道路を利用できるよう、適切な維持管理を行う。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	123,378
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
132,175	123,378	123,378	26,080
77,052	76,917	76,917	146
55,123	46,461	46,461	25,934
査定額	説明		
123,378			
0			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・市道路線の見直しを進めるための調査に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・市道路線の調査については費用対効果等の検討が必要なため0査定
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

33_維持課.xlsx_1

72100

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_2

事業名	72110 急傾斜地崩壊対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画			
					款	7	土木費			ポイント						
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観			市長公約	
					目	1	道路橋りょう総務費			施策分野	(6)	防犯・危機管理				
担当課	建設部 維持課			内線	2322											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・急傾斜地崩壊危険箇所の整備を行い、崩土による被災から市民の生命・財産を守る。	概要	・重力式擁壁・もたれ擁壁・法面工、落石防護柵等の設置
----	---	----	----------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		38,100	26,458	30,000	30,013	30,012
特定財源	国費()					
	県費(急傾斜地崩壊対策事業費 2/3)	34,000	15,910	20,000	20,000	20,000
	その他(地方債)			9,000	9,000	9,000
一般財源		4,100	10,548	1,000	1,013	1,012
新規・拡充 主な事業内容						△ 9,536
	下ミセノ地区(松之木町地内)	31,000	24,553	25,000	30,013	30,012
	無数河地区(久々野町地内)	1,500	1,428			
	瓜巢4地区(国府町地内)	300	179	5,000	0	0
	松倉地区(上岡本町地内)	5,300	298			
	洪草2(緑ヶ丘2丁目)					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	67,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
67,000	67,000	67,000	37,000
36,000	36,000	36,000	16,000
18,000	18,000	18,000	9,000
13,000	13,000	13,000	12,000
査定額	説明		
54,000			
13,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・下ミセノ地区 急傾斜地崩壊対策工 L=12.0m ・無数河地区 急傾斜地崩対策用地分筆登記委託 N=1式 ・瓜巢4地区 急傾斜地崩対策用地分筆登記委託 N=1式 ・松倉地区 急傾斜地崩対策用地分筆登記委託 N=1式 用地購入、立木補償 N=1式
評価等	・対策が必要な箇所は多く、早期に事業を進め効果を発揮させる必要があるため、県に対し継続して事業費拡大を要望した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・引き続き計画的に整備を進める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・下ミセノ地区 急傾斜地崩壊対策工 L=22.0m
評価等	・対策が必要な箇所は多く、早期に事業を進め効果を発揮させる必要があるため、県に対し継続して事業費拡大を要望した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・引き続き計画的に整備を進める。

担当課 予算要求 ポイント	・急傾斜地崩壊対策事業の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

33_維持課.xlsx_2

72110

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_3

事業名	72120 道路台帳管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画		
					款	7	土木費			ポイント					
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約		
					目	1	道路橋りょう総務費			施策分野	(4)	道路・河川			
担当課	建設部 維持課		内線	2322											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・道路法に基づく道路台帳を整備し、市道の適切な維持管理を行う。 ・未登記路線を整理し、市道の適正な管理を行う。	概要	・道路整備完了箇所や占用物変更箇所を台帳に反映し、正確な道路台帳を整備・活用する。 ・市道未登記箇所の測量や所有権移転登記を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		66,000	64,077	66,000	66,000	60,992
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(諸手数料)	40	41	40	40	40
一般財源		65,960	64,036	65,960	65,960	60,952
新規・拡充	主な事業内容					
	道路台帳加除	16,000	16,702	16,000	16,000	16,925
	市道用地登記整理	50,000	47,375	50,000	50,000	44,067

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・管内道路台帳の補正 ・市道未登記用地の調査・測量・登記
評価等	・道路法28条に基づき適正に台帳補正を行った。 ・未登記路線の早期解決に向け、積極的に取り組んでいるが、世帯の代替わりや権利関係(相続、抵当)の複雑化などの理由から、寄付の同意を得るまでに複数年を要する土地が残ってきている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・引き続き、道路台帳整備に取り組む。 ・引き続き、未登記路線が早期に解決できるよう取り組む。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・管内道路台帳の補正 ・市道未登記用地の調査・測量・登記
評価等	・道路法28条に基づき適正に台帳補正を行った。 ・未登記路線の早期解決に向け、積極的に取り組んでいるが、世帯の代替わりや権利関係(相続、抵当)の複雑化などの理由から、寄付の同意を得るまでに複数年を要する土地が残ってきている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・引き続き、道路台帳整備に取り組む。 ・引き続き、未登記路線が早期に解決できるよう取り組む。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	66,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
66,000	66,000	66,000	0
40	40	40	0
65,960	65,960	65,960	0
査定額	説明		
16,000			
50,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・道路台帳の補正及び市道未登記用地の調査等に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

33_維持課.xlsx_3

72120

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_4

事業名	72200 道路橋りょう維持修繕事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	2	道路橋りょう維持費			施策分野	(4)	道路・河川		
担当課	建設部 維持課	内線	2322											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・道路の走行性及び安全性の維持・向上を図り、安心で快適な道路網を確立する。 ・道路清掃や草刈りを行い、道路環境の保全や景観向上・安全確保を図る。	概要	・側溝、舗装、橋りょう等の道路施設の維持修繕を実施する。 ・道路上の粉塵、ごみの除去及び草刈り、側溝の清掃を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		885,500	883,119	620,500	870,500	861,452
						増減(b)-(a)
						△ 21,667
特定財源	国費 (道路整備事業費5/10 等)	31,350	82,073	92,500	92,500	81,992
	県費 ()					△ 81
	その他(原因者工事費 等)	6,000	3,609	6,000	6,000	4,394
一般財源		848,150	797,437	522,000	772,000	775,066
						△ 22,371
新規・拡充	主な事業内容					
	道路修繕	196,400	160,162	143,000	192,000	150,572
	側溝修繕	299,000	332,154	156,000	278,000	334,970
	舗装修繕	232,600	229,104	201,000	277,000	258,448
	橋りょう修繕等	75,000	81,071	10,000	13,000	15,082
	道路防災点検等	57,000	55,239	80,000	80,000	74,466
	舗装の性状調査					19,227
	道路及び側溝の清掃、草刈り					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕等の工事契約件数 N=341件 ・道路施設点検調査 橋梁点検 N=63橋、カルバート点検 N=3箇所 ・人口や市道延長に基づく「地域枠」での道路維持修繕の実施(R5年度要望272箇所に対し、172箇所対応) ・債務負担による令和5年度内での契約件数 N=45件
評価等	・生活に密着した道路、橋りょう等を適切に修繕し、良好な道路環境を維持している。 ・コスト縮減や効率的な維持管理の観点から、中長期的な整備基準を確立する必要がある。 ・次年度当初から工事に着手することができ、工事時期の平準化が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・引き続き、道路施設の修繕を行うことで、道路の安全性を確保し、安心で快適な道路網を維持する。 ・引き続き各地域の意向を尊重した地域枠での道路維持修繕を実施する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕等の工事契約件数 N=311件 ・道路施設点検調査 橋梁点検 N=60橋、トンネル点検 N=3箇所、シェッド点検 N=3箇所 ・人口や市道延長に基づく「地域枠」での道路維持修繕の実施(R6年度要望280箇所に対し、175箇所対応) ・R7年度債務負担による令和6年度内での契約件数 N=30件
評価等	・生活に密着した道路、橋りょう等を適切に修繕し、良好な道路環境を維持している。 ・コスト縮減や効率的な維持管理の観点から、中長期的な整備基準を確立する必要がある。 ・次年度当初から工事に着手することができ、工事時期の平準化が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・引き続き、道路施設の修繕を行うことで、道路の安全性を確保し、安心で快適な道路網を維持する。 ・引き続き各地域の意向を尊重した地域枠での道路維持修繕を実施する。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	667,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
667,700	667,700	667,700	47,200
90,900	90,900	90,900	△ 1,600
96,000	96,000	108,000	102,000
480,800	480,800	468,800	△ 53,200
査定額	説明		
111,000			
145,000			
249,000			
5,000			
88,000			
25,000			
8,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・道路施設の修繕及び橋りょう、トンネル等の点検に必要な経費を計上 ・72210道路清掃事業費を当事業費へ統合
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

33_維持課.xlsx_4

72200

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_5

事業名	72210 道路清掃事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性				根拠計画	
					款	7	土木費				ポイント				
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野			市長公約		
					目	2	道路橋りょう維持費			施策分野					
担当課	建設部 維持課				内線	2322									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・道路清掃や草刈りを行い、道路環境の保全や景観向上・安全確保を図る。 ・集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客の通行の安全確保を図る。	概要	・道路上の粉塵、ごみの除去及び草刈り、側溝の清掃
----	--	----	--------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		8,200	8,187	8,200	8,200	7,984
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		8,200	8,187	8,200	8,200	7,984
新規・拡充 主な事業内容						
	道路及び側溝の清掃、草刈り	8,200	8,187	8,200	8,200	7,984

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・道路清掃・草刈り等を実施した。
評価等	・道路の美観が保たれており、景観保全にもつながっている。
次年度以降の考え方 (担当課)	・道路の安全確保や景観保全の観点から継続して実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・道路清掃・草刈り等を実施した。
評価等	・道路の美観が保たれており、景観保全にもつながっている。
次年度以降の考え方 (担当課)	・道路の安全確保や景観保全の観点から継続して実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	0
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
0	0	0	△ 8,200
0	0	0	△ 8,200
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・72200道路橋りょう維持修繕事業費へ統合
---------------------	------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_6

事業名	72400 交通安全対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	4	交通安全対策費			施策分野	(4)	道路・河川		
担当課	建設部 維持課			内線	2322									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・交通事故の危険性がある箇所に交通安全施設を設置し、適正な維持管理を行うことで、安全性の向上及び事故防止を図る。 ・歩行者が安全で快適に利用できる環境づくりに向け、ユニバーサルデザインの観点から道路施設のバリアフリー化を推進する。	概要	・道路反射鏡、ガードレール、道路照明、道路区画線の新設や修繕を行う。 ・交通安全施設の適正な維持管理を行う。 ・道路施設のバリアフリー化整備（既設側溝改修・蓋設置や路肩部のカラー舗装、歩道段差解消、グレーチング蓋の細目化） ・歩行者移動支援施設（知らせるあかり）の整備
----	--	----	---

総合計画等	主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		57,716	56,817	114,496	161,496	133,350	76,533
特定財源	国費（道路整備事業費5.5/10）	5,500	7,012	3,850	17,600	4,146	△ 2,866
	県費（						
	その他（地方債			77,000	77,000	75,100	75,100
一般財源		52,216	49,805	33,646	66,896	54,104	4,299
新規・拡充	主な事業内容						
	防護柵、道路反射鏡、区画線、交差点等照明、道路標識ほか	53,230	52,930	32,200	79,200	57,127	4,197
	交通安全施設の維持管理	4,486	3,887	4,836	4,836	4,500	613
	市道トンネル管理カメラの設置			460	460	228	228
	道路照明のLED化			77,000	77,000	71,495	71,495
	歩車共存型道路整備（歩行空間の確保）						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・ガードレール・防護柵設置、修繕 L=669.9m(うち、新設L=503.5m) ・道路反射鏡設置、修繕 N=33基(うち、新設N=28基) ・区画線設置、修繕 L=20,700m ・道路照明灯設置、修繕 N=15基(うち、新設N=2基) ・車線分離柵新設設置 N=26基	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定
評価等	・地域の危険箇所に施設を設置しており、交通安全に寄与している。 ・交通安全施設や道路照明の設置については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストや環境に配慮し推進する必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、交通安全施設の適正な管理を行い、安全性の向上及び事故防止に努める。 ・安全対策の強化を図る。 ・コスト縮減と環境配慮の推進を図る。	

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・ガードレール・防護柵設置、修繕 L=774.1m(うち、新設L=349.8m) ・道路反射鏡設置、修繕 N=21基(うち、新設N=16基) ・区画線設置、修繕 L=43,586m ・道路照明灯設置、修繕 N=145基(うち、新設N=2基) ・道路照明(LED化) 112基	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定
評価等	・地域の危険箇所に施設を設置しており、交通安全に寄与している。 ・交通安全施設や道路照明の設置については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストや環境に配慮し推進する必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、交通安全施設の適正な管理を行い、安全性の向上及び事故防止に努める。 ・安全対策の強化を図る。 ・コスト縮減と環境配慮の推進を図る。	

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	223,396
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
225,430	196,396	196,396	81,900
38,400	22,650	22,650	18,800
123,000	123,000	123,000	46,000
64,030	50,746	50,746	17,100
査定額	説明		
25,400			
4,626			
1,370			
123,000			
42,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・交通安全施設の維持管理、道路照明LED化及びバリアフリー化に必要な経費を計上 ・72410/バリアフリー対策事業費を当事業費へ統合
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

33_維持課.xlsx_6

72400

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_7

事業名	72410 バリアフリー対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性				根拠計画	
					款	7	土木費			ポイント					
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野				市長公約	
					目	4	交通安全対策費			施策分野					
担当課	建設部 維持課		内線	2322											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・歩行者が安全で快適に利用できる環境づくりに向け、ユニバーサルデザインの観点から道路施設のバリアフリー化を推進する。	概要	・道路施設のバリアフリー化整備(既設側溝改修・蓋設置や路肩部のカラー舗装、歩道段差解消、グレーチング蓋の細目化) ・歩行者移動支援施設(知らせるあかり)の整備
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
歩車共存型道路整備延長(累計)	6,840m	6,840m	
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	67.7%	68.3%	

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		49,543	46,438	28,000	25,902	23,269
特定財源	国費 (道路整備事業費5.5/10 等)	23,250	21,950	14,000	14,000	11,330
	県費 ()					
	その他(公共施設整備基金繰入金)	10,000	10,000			
一般財源		16,293	14,488	14,000	11,902	11,939
新規・拡充	主な事業内容					
	歩車共存型道路整備(歩行空間の確保)	49,543	46,438	28,000	25,902	23,269

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・歩車共存型道路整備(歩行空間の確保) 市道町方坊方線 L=342m ・整備済路線修繕(市内一円)
評価等	・道路の段差解消や歩行空間の確保など、高齢者等が安全で利用しやすい道路環境の整備を行った。 ・維持管理や環境に配慮した工法や資材の検討を行い、コスト縮減に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・引き続き計画的に整備を進めるとともに、整備してきた路線の維持管理に取り組む。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・整備済路線修繕(市内一円)
評価等	・道路の段差解消や歩行空間の確保など、高齢者等が安全で利用しやすい道路環境の整備を行った。 ・維持管理や環境に配慮した工法や資材の検討を行い、コスト縮減に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・引き続き計画的に整備を進めるとともに、整備してきた路線の維持管理に取り組む。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	0
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
0	0	0	△ 28,000
			△ 14,000
0	0	0	△ 14,000
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・72400交通安全対策事業費へ統合
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

33_維持課.xlsx_7

72410

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_8

事業名	72420 臨時駐車場対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画				
					款	7	土木費				ポイント					
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3			都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	4	交通安全対策費			施策分野	(4)			道路・河川		
担当課	建設部 維持課		内線	2322												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山祭や大型連休、お盆期間中など駐車場が満車となり、交通渋滞が発生する恐れがある場合、臨時駐車場の開設等により市内の渋滞緩和を図り、観光客の利便性を向上させる。	概要	・臨時駐車場の開設、交通誘導員の配置、案内看板の設置、駐車場から観光客を運ぶシャトルバスの運行
----	---	----	---

総合計画等	主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		23,057	22,862	23,990	26,088	25,780
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(臨時駐車場整理協力金)		340			854
一般財源		23,057	22,522	23,990	26,088	24,926
新規・拡充	主な事業内容					
	臨時駐車場の運営	23,057	22,862	23,990	26,088	25,780

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	26,730
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
26,746	26,730	26,730	2,740
26,746	26,730	26,730	2,740
査定額	説明		
26,730			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・交通渋滞対策本部の設置(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆) ・臨時駐車場の開設(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク) ・シャトルバスの運行(春・秋の高山祭)
評価等	・臨時駐車場は、市内常設駐車場の空き状況等を把握しながら、交通渋滞が発生する前の適切なタイミングで開設することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・これまでに蓄積されたデータや駐車場案内システム、FM放送、インターネットを活用して、効率的な臨時駐車場の開設を継続して行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・交通渋滞対策本部の設置(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆) ・臨時駐車場の開設(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク) ・シャトルバスの運行(春・秋の高山祭)
評価等	・臨時駐車場は、市内常設駐車場の空き状況等を把握しながら、交通渋滞が発生する前の適切なタイミングで開設することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・これまでに蓄積されたデータや駐車場案内システム、FM放送、インターネットを活用して、効率的な臨時駐車場の開設を継続して行う。

担当課 予算要求 ポイント	・市内の交通渋滞対策に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

33_維持課.xlsx_8

72420

事業シート(令和6年度決算)

33_維持課.xlsx_9

事業名	72500 除雪対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	5	除雪対策費			施策分野	(4)	道路・河川		
担当課	建設部 維持課		内線	2322										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民の安心・安全な暮らしを守るため、冬期間の道路除雪及び除雪補完作業による交通確保を行う。 ・高齢者や女性でも無理なく安全に利用でき、地域住民が協働で雪またじに取り組める環境整備を図る。	概要	・委託業務による除雪作業の実施 ・除雪機械の購入 ・凍結による事故防止のための薬剤購入 ・消融雪側溝の整備
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
消融雪側溝整備延長(累計)	5,002m	5,137m	

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		1,205,390	1,148,258	820,700	2,272,775	2,000,314
特定財源	国費(道路整備事業費2/3等)	60,500	99,930	163,500	163,500	495,392
	県費(歩道除雪費)	3,000	0			
	その他(地方債、公共施設整備基金繰入金等)	10,000	0	80,000	80,000	79,300
一般財源		1,131,890	1,048,328	577,200	2,029,275	1,425,622
新規・拡充	主な事業内容					
	道路・歩道除雪	1,130,700	1,104,514	600,000	2,009,000	1,763,230
	消融雪側溝整備	29,500	28,705	39,000	39,000	26,995
	除雪車両更新	30,000	0	33,000	61,075	47,303
	道路融雪設備整備			135,000	135,000	135,089
	除雪運行管理システム					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・除雪業務委託 車道L=950km、歩道L=79km、合計L=1,029km ・消融雪溝整備 L=93m(名田八軒町線 L=93m)
評価等	・迅速で効率的な除雪作業により、冬期交通の安全確保が図られた。 ・老朽化した融雪設備を更新する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・冬期における市民生活の安全確保、雪またじの負担軽減を図るため、引き続き除雪に取り組む。 ・除雪方法の検討を行い、より効率的、効果的な除雪に取り組む。 ・老朽化した市有除雪車両を計画的に更新し、現行除雪体制の維持・強化を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・除雪業務委託 車道L=950km、歩道L=79km、合計L=1,029km ・消融雪溝整備 L=135m(名田八軒町線 L=135m)
評価等	・迅速で効率的な除雪作業により、冬期交通の安全確保が図られた。 ・老朽化した融雪設備を更新する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・冬期における市民生活の安全確保、雪またじの負担軽減を図るため、引き続き除雪に取り組む。 ・除雪方法の検討を行い、より効率的、効果的な除雪に取り組む。 ・老朽化した市有除雪車両を計画的に更新し、現行除雪体制の維持・強化を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	1,099,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,197,392	1,099,100	1,099,100	278,400
107,052	103,300	103,300	△ 60,200
21,000	21,000	21,000	△ 59,000
1,069,340	974,800	974,800	397,600
査定額	説明		
970,000			
25,000	西町八軒町1号線		
64,000	除雪ロータリー1台更新(上宝)		
27,000	丹生川上宝線、天満上岡本線		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・除雪車更新、道路融雪設備整備に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

33_維持課.xlsx_9

72500

事業シート(令和6年度決算)

事業名	73100 河川管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画			
			款	7	土木費			ポイント					
			項	3	河川費		分野別	政策分野	3			都市基盤・防災・景観	市長公約
			目	1	河川維持費		施策分野	(4)	道路・河川				
担当課	建設部 維持課	内線	2322										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・河川堤防の除草を実施し、河川環境の保全を図る。 ・河川内のごみ清掃や雨水排水暗渠等の土砂除去を行い、排水機能を確保することで、水環境を保全する。 ・市街地周辺の河川清掃を行い、市民のみならず観光客にも良好な河川環境を提供し、高山市のイメージ向上を図る。	概要	・1級河川の堤防除草作業を地元町内会等に委託する。 ・河川内のごみ収集運搬、暗渠の土砂除去を専門業者に委託する。 ・市街地周辺の河川清掃を任意団体(河川を美しくする会)に委託する。 ・水門管理者による適正な水門管理を実施する。
----	--	----	--

総合計画等	主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		28,780	28,633	30,310	30,310	29,825	1,192
特定財源	国費()						
	県費(河川草刈業務費)	21,600	22,491	23,000	23,000	22,942	451
	その他(河川使用料)	7,180	6,142	7,310	7,310	6,883	741
一般財源			0	0	0	0	0
新規・拡充	主な事業内容						
	河川清掃、草刈りほか	28,780	28,633	30,310	30,310	29,825	1,192

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・一級河川の堤防除草(A=340,500㎡) ・河川清掃時に発生するごみの収集 ・暗渠排水の通水機能確保 ・水門管理者による水門管理の実施
評価等	・河川を熟知している地域の方によって作業が行われており、河川環境の向上につながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・観光客の多い市街地周辺の河川環境の保全に努め、市のイメージアップを図るため継続して実施する。 ・側溝や水路の機能を確保するため継続して実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・一級河川の堤防除草(A=340,500㎡) ・河川清掃時に発生するごみの収集 ・暗渠排水の通水機能確保 ・水門管理者による水門管理の実施
評価等	・河川を熟知している地域の方によって作業が行われており、河川環境の向上につながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・観光客の多い市街地周辺の河川環境の保全に努め、市のイメージアップを図るため継続して実施する。 ・側溝や水路の機能を確保するため継続して実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	34,790
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
34,685	34,790	34,790	4,480
27,000	27,000	27,000	4,000
7,685	7,790	7,790	480
0	0	0	0
査定額	説明		
34,790			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・河川環境の保全、機能の確保のために必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

33.維持課.xlsx_11

事業名	73120 普通河川整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画		
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり			
					項	3	河川費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約		強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
					目	1	河川維持費			施策分野	(4)	道路・河川			
担当課	建設部 維持課		内線	2322											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・普通河川周囲の良好な生活環境の確保と、豪雨等による災害を防止するため、護岸や河床の整備を実施する。	概要	・雨水排水等による普通河川の溢水箇所の整備を行い環境保全を図る。
----	--	----	----------------------------------

総合計画等	主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		180,000	179,794	131,000	181,000	177,723
特定財源	国費()					
	県費(普通河川整備事業費1/2)					
	その他(地方債 等)	60,000	60,000	60,000	60,000	59,900
一般財源		120,000	119,794	71,000	121,000	117,823
新規・拡充	主な事業内容					
	普通河川の整備	120,000	117,611	70,000	120,000	107,557
	普通河川の浚渫	60,000	62,183	60,000	60,000	69,214
○ 1	河川、水門調査			1,000	1,000	952
	水門の遠隔制御設備整備					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	226,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
226,000	226,000	226,000	95,000
23,000	23,000	23,000	23,000
105,000	105,000	154,000	94,000
98,000	98,000	49,000	△ 22,000
査定額	説明		
116,000			
60,000			
50,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・河川整備工事 実績件数 N=34件 ・河川浚渫工事 実績件数 N=8件
評価等	・老朽化、断面不足等の普通河川を計画的に整備することができた。 ・浚渫を行うことにより河道断面を確保することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・河川整備工事 実績件数 N=41件 ・河川浚渫工事 実績件数 N=9件
評価等	・老朽化、断面不足等の普通河川を計画的に整備することができた。 ・浚渫を行うことにより河道断面を確保することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・普通河川整備等に必要な経費を計上 ・水門遠隔監視、自動制御化に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

33.維持課.xlsx_11

73120

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	73120 普通河川整備事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	建設部 維持課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1 河川、水門調査		☐ その他重要事業			項	3	河川費	内線	2322
			☐			目	1	河川維持費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・普通河川を良好な状態に保ち、豪雨等による災害を防止する。	概要	・普通河川整備のための調査、設計業務の委託、及び水門ゲートの遠隔監視導入にむけた調査を行う。
----	-------------------------------	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・調査委託費	
対前年度増減額(当初予算)		1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		952
対前年度増減額(決算)		952

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・河川の維持修繕、整備のための調査測量概略設計を行う。 ・水門ゲートの遠隔監視導入にむけた調査を行う。	
[スケジュール] ・～3月 調査、設計	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・普通河川阿矢谷川の現況河川断面の把握 河川定規模断面測量 N=8箇所 ・水門の遠隔監視・自動制御化導入に向けた現地調査、整備箇所の選定		
[評価等] ・普通河川阿矢谷川の、現況流下能力を把握するために必要な基礎資料を得た。 ・現地調査の結果、主要な水門5箇所のうち、特に操作頻度の高い3箇所の事業化を決定した。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	水門の遠隔監視・自動制御化を実施し、豪雨時などにおける安全な操作の確保と職員の負担軽減を図る。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

33.維持課.xlsx_13

事業名	74800 駐車場管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	
				款	7			ポイント			
				項	4			政策分野	3		
				目	6			分野別	施策分野	(4)	
担当課	建設部 維持課	内線	2322		駐車場管理費					市長公約	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市営駐車場を適正に維持管理し、駐車場利用者の利便性を向上させ、市内の渋滞緩和を図る。	概要	・指定管理者による駐車場の運営・管理 ・計画的な機器類の改修・更新工事の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		64,551	62,554	41,356	42,636	39,248
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(土木施設使用料、指定管理事業雑入(駐車場) 等)	64,551	62,554	41,356	42,636	39,248
一般財源			0	0	0	0
新規・拡充	主な事業内容					
	市営駐車場の管理運営	31,851	30,522	28,756	30,036	28,209
	施設整備	32,700	32,032	12,600	12,600	11,039

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・指定管理者及び直営による駐車場の運営・管理 ・市営かじ橋のゲートシステム改修工事及び機械部品改修工事等の実施
評価等	・指定管理者等と連携を図り、適切な駐車場の運営・管理ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定 ・市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上を目的に、継続して駐車場の運営管理を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・指定管理者及び直営による駐車場の運営・管理
評価等	・指定管理者等と連携を図り、適切な駐車場の運営・管理ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上を目的に、継続して駐車場の運営管理を行う。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	39,326
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
62,227	41,626	39,326	△ 2,030
62,227	41,626	39,326	△ 2,030
0	0	0	0
査定額	説明		
28,926			
10,400	かじ橋駐車場機械部品改修 ほか		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・市営駐車場の施設整備に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・積算内容を精査 ・料金精算機キャッシュレス化については、料金見直しと併せて検討することとし0査定

33.維持課.xlsx_13

74800